



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585

京都府亀岡市篠町篠野田1-1

TEL 0771-25-7313

FAX 0771-25-7312

http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/

## 病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

## CONTENTS

ごあいさつ	1
新任医師紹介	2
認定看護師セミナー開催報告 公用車を寄贈いただきました	3
平成25年度病院事業 会計決算の概要	4
糖尿病教室からのお知らせ	5
トピックス 救急医療功労者表彰を受けました クリスマス会の開催について 病院職員紹介	6
地域連携医のご紹介 クリニックもみじ・なら皮フ科クリニック	7
編集後記	8
広報誌読者からのご意見等募集案内	8

### ごあいさつ

皆さまには、2015年「乙未」の新年を清々しくお迎えのことと存じます。この年が穏やかな安泰で平和な1年でありますように願ってやみません。

「桔梗」vol17、1月号をお届けします。

昨年11月にはご心配をお掛けしておりました循環器内科の常勤医師も着任いただき、より一層本年も市民の皆様への信頼に応え、良質な医療の提供に努めてまいりたいと存じています。よろしく願いいたします。

一昨年からは皆様も“2025に向けて”という言葉を見聞されていることと思います。所謂団塊の世代が75歳を迎え、65歳以上が3人に1人、75歳以上が5人に1人と予測されるなか継続可能な社会保障制度の確立を図る改革推進に、昨年6月18日国会において所謂「医療・介護総合推進法」が成立しました。人口動態や社会情勢の変化のなか、求められる医療・介護への様々な取組が、長寿を壽ぎ尊厳の維持と自立生活の支援に向けて、住み慣れた地域でのシステムづくりに地域包括ケアへの取組が施策として展開されることになっています。

亀岡市立病院も市内唯一の自治体病院として急性期医療を担い、16年6月開院以来地域医療の貢献に職員一同努めてまいりました。

今後とも持続可能な安定した良質な医療に邁進すると共に、こうした社会情勢に求められる医療対応に努めること等常に検証しつつ、必要とされる病院づくりに全職員一同新年にあたり肝に命じているところです。

あらためまして

「市民に親しまれ信頼される病院に  
チーム医療で心あたたまる  
良質な医療を提供します」

どうぞ 本年も宜しく願い申し上げます



亀岡市病院事業管理者  
坂井 茂子

# 新任医師紹介

昨年11月から新たに1名の医師が入职いたしましたので、ご紹介させていただきます。  
なお、内容は①名前②年齢③出身④得意とする診療内容⑤趣味など⑥皆さまへのメッセージです。

## 循環器内科



- ①名 前 …………… 福居 顕介 先生 (ふくいけんすけ)
- ②年 齢 …………… 36歳
- ③出 身 …………… 京都市
- ④得意とする診療内容 …… 循環器内科一般
- ⑤趣味など …………… 音楽鑑賞

### ⑥皆さまへのメッセージ

平成26年11月より、循環器内科医員に着任しました、福居顕介です。前任の京都府立医科大学附属北部医療センターの循環器内科に勤務していた時は、週末などに山陰線を利用して、京都市内に戻ったりしていました。その途中の駅に亀岡や馬堀があって、車窓から、嵯峨野のトロッコ列車や保津川下りなどが目に付き静かで落ち着いた風光明媚な土地の印象がありました。

そんな矢先、当院への異動が急に決まり、病院見学や手続などで馬堀駅を降り立つと、ちょうど紅葉のシーズンでリュックサックを担いだ健脚そうな老若男女の観光客でにぎわっており、また違った印象を持ちました。

これまで京都市内の勤務が長く、与謝の海から亀岡とやってみりました。与謝の海では天橋立を中心に海の自然に親しみました。亀岡は城下町と聞きました。

京都市内と丹波地方との間で、新鮮な野菜や果物も

豊富とのことで、まだまだゆっくりできる余裕はありませんが、休日にはお城や町並み、道の駅など散策してみようと思っています。

先日、亀岡観光の記事で、マスコットキャラクターの「明智かめまる」のことを目にしましたが、いつか実物を見てみたいと思っています。

しばらくの期間、当院の循環器内科では、京都府立医科大学からの非常勤の先生方による診療体制でした。正直なところ、まだまだ万全な体制ではないですが、循環器疾患(心不全、虚血性心疾患、高血圧症、不整脈など)・内科疾患に対して、引き続き非常勤の先生方、院内の他科の先生方の御協力のもと、近隣の病院・診療所などの医療機関との連携も通じて、亀岡市の中核病院として安心・安全の医療を提供できますよう、出来る限り努めてまいります。何卒、よろしくお願い申し上げます。



## 第1回『認定看護師セミナー』を開催しました。



がん化学療法看護認定看護師 山田易余

亀岡市立病院では、院内の認定看護師が2名となったこともあり、認定看護師の専門的知識をより多くの看護師に伝えられる機会を院外にも対象を広げセミナーを企画しました。

第1回目は「皮下埋め込み型CVポートの安全な管理」というテーマで11月19日に開催しました。「皮下埋め込み型CVポート」は抗がん剤治療だけでなく、在宅患者様の輸液投与の手段として用いられる事が増えてきています。セミナーの内容は皮下埋め込み型CVポートの基本的な知識(構造)、針の選択、ルート of 固定や抜針の方法、合併症について、また実際にポートに穿刺する演習を行いました。49名の参加者のうち地域の医療・介護施設からも14名の参加がありました。

今後も認定看護師として、基礎から実践まで幅広く専門性に富んだ研修を行うことで、地域で活躍されている医療・介護者と共に学び、地域に必要とされている看護ケアを提供できるように努めて行きたいと思ひます。

また、がん化学療法看護・皮膚排泄ケア認定看護師以外にも糖尿病療養指導士や学会認定看護師等と協力し、地域を含めた看護の質の向上に貢献する場として認定看護師セミナーを発展させて行きたいと思ひます。

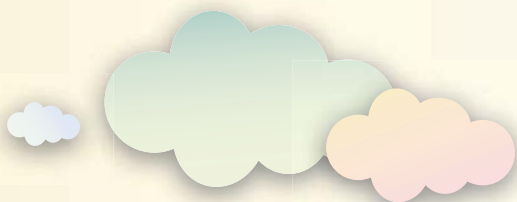
ご協力頂いた皆様に深く感謝いたします。



## 公用車を寄贈いただきました

亀岡市立病院開院10年にあたり亀岡ライオンズクラブ様から、軽自動車1台の寄贈を受けました。寄贈された自動車は院内外の連絡調整をする地域連携室の専用車両として活用し、機動性向上による地域医療連携強化を図り、皆様にさらに安心して診療を受けていただけるように努めてまいります。

寄贈いただき、ありがとうございました。



# 平成25年度市立病院の決算概要について

亀岡市立病院は、平成16年度に開院して以来、市民の皆さまの命と健康を守るための安全安心の拠点施設として、良質な医療を継続して提供しています。

また、公立病院としての役割を着実に果たすため、地域医療機関との連携を深め、医療サービスの向上や診療体制の充実、経営の効率化に努めているところです。

今後も引き続き、職員が一丸となって、病院理念の達成と市民の皆さまから信頼される病院づくりを目指した病院運営に取り組んでまいります。

このような中、平成25年度は、前年度に導入した電子カルテシステムを積極的に活用し、病院経営における分析等に役立てるとともに、新たな診療科を標榜するなど、より一層の患者サービスの向上のため努めました。

## 1. 患者数の状況

入院患者数は、年間では24年度に比べ722人増加して延べ27,574人となり、1日平均では24年度に比べ1.9人増加して75.5人となりました。病床利用率は、24年度に比べ1.9ポイント増加して75.5%でありました。

また、外来患者数は、年間では24年度に比べ2,797人減少して延べ68,959人となり、1日平均では24年度に比べ10.3人減少して延べ282.6人となりました。

## 2. 収益的収入及び支出の状況

収益的収入は、24年度に比べ1億3,885万円増加して22億7,749万円となりました。内訳は、入院収益が10億4,272万円、外来収益が6億765万円、一般会計繰入金が5億2,602万円、室料差額や予防接種などの収入が1億110万円となっています。一般会計繰入金は、国の制度などにより病院事業の経費のうち政策医療である救急救命医療や高度医療など国や市の一般会計が負担すべきと決められている経費に相当する収入です。

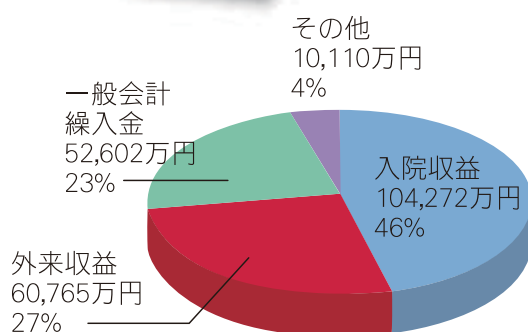
一方、収益的支出は、24年度に比べ1億1,692万円増加して22億8,814万円となりました。内訳は、常勤や非常勤職員の給与費が12億2,349万円、薬品や診療材料などの材料費が3億6,232万円、施設の管理運営などの経費が3億3,682万円、施設や医療機器などの減価償却費が2億5,197万円、企業債の支払利息が6,004万円、その他が5,350万円となっています。

年間の経営成績をあらわす収益的収支差引では、1,065万円の経常損失を計上することとなりました。その結果、前年度からの繰越欠損金4億5,299万円を加えた当年度未処理欠損金は4億6,364万円となっています。

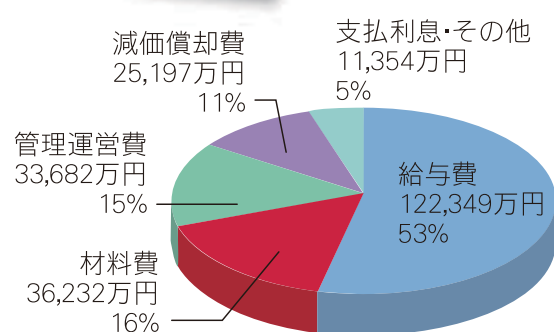
今後とも“安心と信頼の医療”を目指し、公共性と経済性を考慮して透明性のある病院運営に努めてまいりますので、市民の方々をはじめ関係各位の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

※平成25年度病院事業会計決算の概要については、当院のホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

### (収益の構成)



### (費用の構成)



## 糖尿病教室からのお知らせ

新年を迎え、皆様どのようにお過ごしでしょうか？

年末年始に、ついつい食べ過ぎてしまったという方も少なくないのではないのでしょうか？今回は、昨年(2014年)の1年間を振り返りながら当院での糖尿病教室の内容を御紹介させていただきます。

当院での糖尿病教室は、主に糖尿病委員会のメンバーで行っています。毎回、それぞれのメンバーが持ち回りでテーマを決めて糖尿病にまつわるいろいろな話をさせて頂いております。

野口医師(糖尿病専門医)からは、4月に糖尿病についての全般的な話を、10月には糖尿病の合併症についての話をさせて頂きました。

谷村看護師(糖尿病療養指導士)と岡崎看護師からは、1月と8月にフットケアについてお話しさせて頂きました。

森管理栄養士(糖尿病療養指導士)からは、3月に糖尿病の食事療法についての話を、7月には糖尿病腎症の食事療法についての話をさせて頂きました。

原臨床検査技師(糖尿病療養指導士)からは、5月と12月にPart 1と2に分けて糖尿病関連の検査についてお話しさせて頂きました。

吉見薬剤師(糖尿病療養指導士)からは、6月に糖尿病の治療薬についての話を、11月には糖尿病治療薬に限らず薬の一般的な話をさせて頂きました。

そして半年に1度、院内のスタッフの中からゲストを招き特別講演をお願いしました。

2月には松尾医師(元循環器内科部長)に「糖尿病と血管病」というテーマで、9月には織田理学療法士(リハビリテーション科長)に「糖尿病に対する運動療法～安全で効果的な運動を継続するために～」というテーマでお話させて頂きました。

毎回、講義の後には参加頂いた方々から質問を受け付け、お答えさせて頂いてます。参加費は無料で、予約も必要ありません。月1回、基本的に火曜日の午後1時からウェルネスホールで開催しております(日時の詳細と内容についてはその都度、院内に掲示)。

どなたでも御興味のある方はお気軽に御参加下さい。お待ちしております。



## 救急医療功労者表彰を受けました

平成26年11月13日、京都府公館にて平成26年度京都府保健医療功労者表彰式が執り行われました。

そこで当院が10年以上にわたり京都府における救急医療体制の整備促進と地域の救急医療の確保に寄与してきたとして、救急医療功労者として表彰を受けました。

今後更に、市民の皆様から信頼と愛され親しまれる病院となるよう努めてまいりますので、今後とも宜しくお願いいたします。



## 第11回クリスマス会を開催しました



昨年の12月19日(金)に当院外来フロアにて11回目のクリスマス会を開催しました。

当院のクリスマス会は、普段お越しいただいている患者様と、いつもの診療の時には出来ないような交流を行い、信頼関係を深めたいとの思いから平成16年の開院時から毎年開催させて頂いております。

今年は、ボランティアの方によるフルーツ演奏をはじめ、看護師等によるハンドベル演奏、体操、手話、各技師によるイントロクイズ、院内各医師によって結成された“ドクターズ”によるコーラスなど盛りだくさんの内容で患者様と楽しいひと時を過ごしました。

次回開催の折には、ぜひ、皆さまのご参加をお待ちしております。

## 病院職員紹介



看護部  
看護師

外堀 さとし

新年明けましておめでとうございます。私の家庭では正月行事らしいことはしていませんでしたが、通っていた書道教室で書き初めをしていたことを思い出します。普段の昇位のための半紙とは違い、条幅にダイナミックに文字を書いたり、色紙に書いて額縁に飾るなどさまざまな作品作りに取り組んでいました。

学校も冬休みで部屋の中で一日中暖房に当たりながらごろごろし緩んだ気持ちも、筆を持ち集中すると心も頭もとてもすっ

きりして一年の始まりにふさわしいしゃきとした気持ちになったものでした。

現在は時間がとれず通えていないのですが、教室に漂う墨の匂いとともに懐かしく思います。



# 地域連携医のご紹介

当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

## クリニックもみじ

院長：芝 伸太郎

住所：亀岡市余部町清水26-1

TEL：22-7516

標榜科目：精神科、心療内科

診療時間：午前9:00～12:00、午後3:00～6:00

土曜日・日曜日・祝日休診

### 院長より一言

亀岡市立病院様には、いつも御世話になっております。厚く御礼申し上げます。

当クリニックは、平成9年開設いたしました。平成26年2月に現在の地に拡充移転いたしました。かつてはマイナーであった精神科も、「うつ」や「認知症」の急増で活躍の機会が一気に多くなった感がございます。このような情勢変化により、精神科受診への敷居が低くなったのは喜ばしいのですが、他方、負の側面として、インターネット等を通じて精神科医療に関する不正確な情報が多く流布されるという事態が出来ております。

例えば「うつには抗うつ薬」といった人口に膾炙したフレーズも厳密には間違いであり、「抗うつ薬」は「うつ」に効く場合と、効かない場合と、かえって悪化する場合があります。全科に該当することですが、やはり「餅は餅屋」なのだと思感いたします。クオリティーの高い「餅屋」がそろっておられる亀岡市立病院様との連携を強めて、当クリニックは地域医療に貢献したく存じます。今後ともよろしく御願ひ申し上げます。



## なら皮膚科クリニック

院長：奈良 武史

住所：亀岡市大井町小金岐4-27

TEL：20-8025

標榜科目：皮膚科、アレルギー科

診療時間：午前9:00～12:00、午後4:00～7:00

土曜日の午後および

木曜日・日曜日・祝日休診

### 院長より一言

大井町のコーナン横で皮膚科を開業しております奈良です。開業後6年となりました。勤務医時代には想像もしなかったことが次々とおこり、面食らうことが多々ありましたが何とか皆様のお力添えがありここまでやっていくことができ感謝の日々です。特に亀岡市立病院の先生方、職員の皆様には紹介や入院の際大変お世話になり助かっております。ありがとうございます。

当院は、亀岡市中心部～市立病院からは少し離れているため、また南丹市、丹波町よりということもあって亀岡市以北の患者さんも多数来院していただいております。患者さんの年齢層は皮膚科ですので赤ちゃんから超高齢者までゼロ歳から100歳まで全ての年齢層に分布しています。日によっては待合が全員赤ちゃんだとか、小児だけという時間帯があり、たまたま受診に来られた60歳台の患者さんが「ここは小児科ですか？」と言って出て行きそうになったというようなウソのような本当の話もあります。そうかと思えば全員70歳台という時間があったりでそういう状況を楽しんで診察している毎日です。

疾患は、湿疹皮膚炎の患者さんが多いですが、見逃してはならないのが悪性腫瘍です。悪性黒色腫のような疾患はまだわかりやすいですが、改善の乏しい紅斑だけでも皮膚リンパ腫の可能性はありますので注意しています。またアトピー性皮膚炎をきっかけに引きこもりがちになったりすることがありますので、そういう青年に対しては全ての診察が終わったあとに1時間ほど時間をとってカウンセリング的なアプローチをしたりしています。悪戦苦闘の日々ではありますが、今後も地域にお世話になりながら仕事を続けていければと思っております。また何かありましたらいつでもお声かけください。今後ともよろしく御願ひいたします。



## 編集後記

小紙を手にとって読んでいただき、ありがとうございました。

2014年末の衆議院選挙の結果、消費税増税の先送りが決まりましたが、元から与野党のほぼすべてが増税に反対していましたので選挙前から予想された結果でした。それが正しいかどうかは経済の素人である小生にはわかりませんが、少なくとも社会保障費はこれまで以上に厳しく減額されていくと思われ、この規模の自治体病院の存続にはこれまで以上の逆風が吹くものと思われます。

市民の病院ですので市民の皆様からのご意見を聞きながら今後どのような病院を目指すべきなのか、何ができて、何を捨てるべきなのか考えていかなければならないと思っています。

広報委員会委員長 田中 宏樹(診療部長兼外科主任部長)

### 広報誌読者からのご意見等募集案内

本誌『桔梗』の表紙や挿絵に掲載させて頂く写真やイラストを募集させていただきます。テーマの規定はありません。みなさまより多数のご応募を心よりお待ちしております。採用、不採用に関わらず、写真やイラスト、画像データ等のご返却できませんのであらかじめご了承下さい。詳細につきましては、下記担当者までお問い合わせをお願い申し上げます。

【担当者】亀岡市立病院 病院総務課 谷 (平日、午前10時から午後3時まで)



JR馬堀駅から徒歩約5分/京都縦貫道篠インターから車で約5分/駐車(輪)場有

## 亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1  
TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312  
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/access/index.html>

「がんばろう日本」～亀岡市は東日本の復興を支援します～